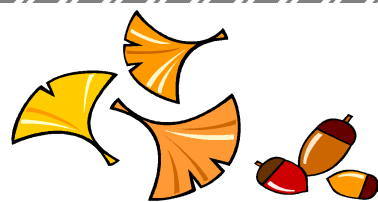


ほけんだより



2023.11.7 富谷中学校 保健室 NO.11

知っていますか？

かがくぶつしつかびんしやう
化学物質過敏症



アレルギー反応のひとつであり、印刷物のインクの臭いや、洗剤や柔軟剤の臭いによって、目がちかちかしたり、頭痛、吐き気をもよおす症状が出る場合があります。症状が重い人は、その部屋にいることができなくなることもあります。



<学校生活で気をつけたいこと>

私たちは、教室で共に生活しています。換気をしながら過ごしていますが、席が近い人の香りはどうしても嗅ぐものです。また、冬になって暖房が入ればクラス全員の香りが入混ざります。今、問題になっているのは、化学物質過敏症の中でも、特に、「柔軟剤」による香害です。

ひとつひとつはいい香りでも、集まって混ざると、においがきつい、ということもあります。また、香水のように強い香りは苦手、という人も実は多くいます。ただ、直接その人には言いにくい、と我慢している人も多いです。中学校、高校と、教室で過ごす間は、お互いの生活空間を過ごしやすくするためにも、香りの強い柔軟剤の使用は控えていきましょう。

保護者の皆様へのお願い

「香害」対策となる洗濯については、ご家庭の協力をぜひともお願いいたします。富谷中では午後からジャージで過ごすため、ジャージと、皆で使う給食着にご配慮いただくことで、教室内の空気環境を整えていきたいと考えています。

*こんなことも・・・皮膚が敏感なお子さんの中には、柔軟剤の香料でかゆみを感じたり、赤くなっていたりする場合があります。着た時は大丈夫でも汗をかいたらかゆくなった、という例もありました。微香性や敏感肌用の柔軟剤に切り替えることで改善できるかもしれません。

